|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **（　　　　　　　）さん　　認知症ケア能力評価表　　　記入者：**  **実習期間中**  **ワーク３-１**  **ワーク３-２** | | | | |
|  | **ア、評価対象項目** | **イ、評価方法** | **実施日** | **ウ、評価結果**  **できている点・課題** |
| **認知症ケアの知識** |  |  |  |  |
| **アセスメント** |  |  |  |  |
| **介護方法** |  |  |  |  |
| **介護評価** |  |  |  |  |

**（　　　　　　）さん　　認知症ケア指導計画書　　　記入者：**

**実習期間中**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **指導課題** | **優先順位** | **指導目標** | **期間** | **具体的方法** | **頻度** |
| **認知症ケアの知識** |  |  |  |  |  |  |
| **アセスメント** |  |  |  |  |  |  |
| **介護方法** |  |  |  |  |  |  |
| **介護評価** |  |  |  |  |  |  |

**認知症ケア能力評価表（評価項目例）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **ア、評価対象項目** | **イ、評価方法** | **実施日** | **ウ、評価結果**  **できている点・課題** |
| **認知症ケアの知識** | 〇認知症に関する昨今の施策の動向や内容  〇パーソン・センタード・ケア等の基本理念等に関する基本的な知識  〇認知症の定義や診断基準  〇原因疾患の種類と特徴、中核症状、薬物療法等についての認知症に関する基礎知識  〇BPSDの定義、BPSDの種類と特徴、BPSDに関する要因の種類と関係、原因疾患別のBPSDの特徴等に関するBPSDに関する基礎知識等 |  |  |  |
| **アセスメント** | 〇認知症ケアへの目標の設定（BPSDへの緩和だけでなく予防を視野に入れた生活目標の重要性）  〇認知症ケアに必要なアセスメント視点：BPSDの種類、程度の評価、発症時の表情、行動、発言、発症時の高齢者の状態、低下している認知機能や程度、正常な認知機能、周囲の環境（住環境、刺激等）、他の高齢者、家族、職員等との関係状態や個々の人間関係の特徴、過去、現在の生活状況（ADL目標、活動、生活スタイル、趣味、思考等）等 |  |  |  |
| **介護方法** | 〇医師、看護師、PT、OT等と協力し、具体的な要因を緩和する等の調整方法  〇コミュニケーション方法  〇住環境や刺激の調整方法  〇心理的な安定、健康管理、環境適応の促進、意欲の向上等を実現するための活動機会の提供方法  〇他の高齢者、家族、職員との関係状態に応じた関係性の調整方法等 |  |  |  |
| **介護評価** | 〇BPSDの頻度や重症度の変化  〇高齢者の心理状態の変化  〇高齢者の生活状況や質の変化等 |  |  |  |

**〈面接結果〉**

**行動・心理症状（BPSD）への介護に必要な知識２**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **項目** | **ポイント** | **内容** |
| 行動・心理症状（BPSD）への介護 | 行動・心理症状（BPSD）への介護目標 | 行動・心理症状（BPSD）の緩和だけでなく予防を視野に入れた、生活目標の重要性の理解 |
| 行動・心理症状（BPSD）への介護に必要なアセスメント視点 | 行動・心理症状（BPSD）の症状の様態  発症時の表情、行動、発言  認知機能及び障害の種類と程度  心理状態や気持ち  身体機能、健康状態、体調  周囲の環境状態（住環境、刺激）  他者との関係性（他の高齢者、家族、職員等）  生活状況（ADL、日課、活動、生活スタイル、趣味、嗜好等） |
| 行動・心理症状（BPSD）への介護に必要な方法 | 身体面への介護  コミュニケ－ションの方法  環境調整の方法  活動支援の方法  人間関係調整の方法 |
| 行動・心理症状（BPSD）への介護の評価 | 行動・心理症状（BPSD）の頻度や重症度の変化と測定方法  行動・心理症状（BPSD）発症要因の変化と測定方法  高齢者の心理状態の変化と測定方法 |

**行動・心理症状（BPSD）への介護に必要な技術**

|  |  |
| --- | --- |
| **ポイント** | **内容** |
| 行動・心理症状（BPSD）への介護目標の立案 | 行動・心理症状（BPSD）への緩和だけでなく、高齢者の希望や必要性を考慮した生活目標と、目標達成のための生活支援目標が立案できる。 |
| 行動・心理症状（BPSD）への介護に必要なアセスメントを実践できる | 行動・心理症状（BPSD）の種類、程度を評価できる |
| 発症時の表情、行動、発言を観察し、評価し、発症時の高齢者の状態把握ができる |
| 低下している認知機能や程度と、正常な認知機能を評価できる |
| 行動・心理症状（BPSD）発症前後の感情、気持ち、気分等の心理状態を評価できる |
| 疾病、健康状態、体調、身体機能を医師、看護師、PT、OT等と協力して評価できる |
| 行動・心理症状（BPSD）に影響している周囲の環境（住環境、刺激等）を評価できる |
| ほかの高齢者、家族、職員等との関係状態や個々の人間関係の特徴を評価できる |
| 過去、現在の生活状況（ADL、日課、活動、生活スタイル、趣味、嗜好等）を把握できる |
| 行動・心理症状（BPSD）への介護に必要な方法を実行できる | 医師、看護師、PT、OT等と協力し、身体的な要因を緩和、調整することができる |
| 行動・心理症状（BPSD）の要因のアセスメントや心理状態を安定させるためのコミュニケーションができる |
| 行動・心理症状（BPSD）の要因改善や、快適な生活支援のための住環境や刺激の調整ができる |
| 心理的な安定、健康管理、環境適応の促進、意欲の向上等を実現するための活動機会を提供することができる |
| ほかの高齢者、家族、職員等との関係状態に応じた関係性の調整ができる |
| 介護実施後の評価ができる | 行動・心理症状（BPSD）の頻度や重症度の変化を客観的に評価することができる |
| 行動・心理症状（BPSD）の発症要因の変化を評価することができる |
| 高齢者の心理状態の変化を評価することができる |